



原発爆発から4年 今、フクシマの人達は

—被災地の現状を知り、あらためて被災者支援を問い直す—

脱原発すわ連絡会 3.11 企画 映画会+「フクシマの現状と触れるツアー」報告会

フタバから遠く離れて [第二部] 上映会

原発事故は遠い昔の出来事だったかのように、
風化が進み、再稼働への動きが強まっている。



双葉町は帰宅困難区域に指定され、さらには中間貯蔵施設の建設計画が出されるなど、事故に起因する様々な問題が大きな影を落としてゆく。

歴史に翻弄された土地、そこで暮らしてきた人々の立場を克明に映し出し、目に見えないものが消失していく様と、原発行政がもたらした矛盾を描く作品。

原発爆発から4年 今、フクシマの人達は 「フタバから遠く離れて 第二部」 上映会 & 「フクシマの現状と触れるツアー」 報告会



上映する「フタバから遠く離れて第二部」は、事故後9ヶ月を記録した第一部の後の3年間の記録です。これは、双葉町だけに限らず、原発を持つ市町村すべてに共通するテーマを含みます。原発による電力に依存している全ての地域・全ての国に通じる問題を扱っています。

日時: 2015年3月15日(日)

会場: ちの地区コミュニティーセンター(茅野市塚原1-9-16)

<http://www.city.chino.lg.jp/www/contents/1000000456000/index.html>

上映: 2回。一回目 10:00~、二回目 14:00~。(上映時間:114分)

料金: 大人 1,000 円、大学・高校生 500 円、中学生以下は無料

主催: 脱原発すわ連絡会(共同代表: 塩原俊、藤瀬恭子、毛利正道)

問い合わせ: 事務局 望月かつじ 携帯:090-1413-5590、fax:0266(82)0675

後援: 諏訪市、下諏訪町、富士見町、原村、原村教育委員会、諏訪市教育委員会、岡谷市教育委員会、富士見町教育委員会、下諏訪町教育委員会



ツアーでは昨年9月15日より一般車両の通行が可能になった国道6号線を通り、被災状況を視察してきました。上: 国道6号線で福島第一原発の直近からの写真。

右: 国道6号線で浪江町から双葉町へ入る地点の道路上の立て看板。

上映の間に、昨年11月に脱原発すわ連絡会が企画した「フクシマの現状と触れるツアー」の参加者のお話による報告会を開催します。(写真展示あり)

